

# 特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議!!

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待通りの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて表決が行われる予定です。

## 【総務費】

本庁舎の建て替えについて、多額の建設費に対応するため、平成22年度より総事業費の2分の1を目途に庁舎建設積立基金への積み立てを計画的に進めています。平成27年度末時点で積立額は約10億円となっています。

**Q** 今後の積み立ての方針は。

**A** 昨年8月に基本設計を策定しましたが、事業費が当初の計画より大幅増となったことから、その縮減に努めてきました。引き続き基金への積み立てを継続し、将来の負担軽減を図るとともに、実施設計にも取り組んでいきます。

## 【衛生費】

**Q** 香川県が若い世代の子宮頸がん検診受診率向上のため、検診車を大学などに派遣し、20歳からの受診を推進していく予定と報道されていた。がんに対しては早期発見が重要であるが、本市の考えは。

**A** 本市は検診車を所有しておらず、関係機関に委託をしている状況です。また、市内には大学等がないため、同様の事業をすることは困難ですが、保育所等の保護者などを対象に関係各課と協力して若年層の受診率向上に努めていきます。

## 【農林水産業費】

**Q** 農作物への鳥獣被害について、これまで捕獲補助金などの取り組みによって減少傾向にはあるが、劇的な改善には至っていない。近年、ジビエ料理が人気を博していることから、本市も処理施設を導入しては。

**A** 本市単独で施設を整備しても費用対効果が見込めず、国の補助を受けることができません。一方で、他県において移動式解体処理車の実証試験が行われており、その成果や補助制度の動向を見ながら検討を進めていきます。

## 【商工費】

**Q** プレミアム付商品券の効果は。

**A** 商品券の購入をきっかけに、新たに約7,000万円の消費意欲が喚起されました。事業所からは、新規の来客が増加したとの声が寄せられています。

《委員の意見》商品券の約6割が大規模店舗で使用されている。消費喚起が目的ではあるが、今後同様の事業を実施する際には地元商店街での利用が促進されるように検討してほしい。

## 【消防費】

**Q** 前年に比べ救急出動件数や病院に収容した人数が増加しているが、その要因と今後の対策は。

**A** 高齢者の搬送件数の増加や熱中症により救急搬送されるケースが増えたことが理由であると考えられます。救急需要の増加に対しては、救急救命士を増やすとともに、経験豊富で指導的立場にあたる指導救命士を配置して質、量ともに体制の充実を図ることで対応していきます。

## 【教育費】

**Q** 小児生活習慣病予防健診において、要指導や要受診となっている児童が年々増加しているが、どのように対応しているのか。

**A** 普段から授業等を通じてこの健診の意義や生活習慣病等に関して説明しています。要受診となった際にはすぐに保護者へ通知し、医療機関への受診を依頼しています。また要指導となった際には、保護者の協力のもと3カ月間にわたる生活習慣の改善等に努めており、いずれの場合も再検査においては改善されています。

### 決算審査の日程

10月 3日(月)	総務消防委員会関連 (総務部・消防)
10月 4日(火)	教育民生委員会関連 (健康福祉部・市立病院)
10月11日(火)	教育民生委員会関連 (教育委員会)
10月12日(水)	市民建設委員会関連 (建設経済部・農業委員会・水道局)
10月17日(月)	市民建設委員会関連 (市民生活部)
11月10日(木)	総括・まとめ

### 委員構成

【委員長】	若谷	修治		
【副委員長】	鳥飼	年幸		
【委員】	植原	泰	東原	章
	斉藤	義明	茨	智仁
	松成	国宏	楠井	常夫

